

製品名: HEXIM1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00403**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 41 kDa

抗原情報

遺伝子名	HEXIM1
別名	CLP1; EDG1; HIS1; MAQ1
遺伝子 ID	10614
SwissProt ID	O94992
免疫原	抗血清はヒト HEXIM1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

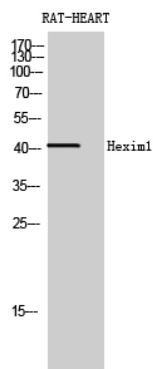
RNA ポリメラーゼ II 転写阻害因子として機能する転写調節因子 (PubMed:14580347, PubMed:15713661, PubMed:15201869) 。7SK snRNA と連携して、P-TEFb を巨大な不活性 7SK snRNP 複合体に隔離し、RNA ポリメラーゼ II のリン

酸化とそれに続く転写伸長を阻害する (PubMed:12832472, PubMed:14580347, PubMed:15713661, PubMed:15201869)。NF- κ B、ESR1、NR3C1、および CIITA 依存性転写活性も制御する可能性がある (PubMed:15940264, PubMed:15941832, PubMed:17088550)。IRF3 リン酸化とそれに続く cGAS-STING 経路による自然免疫応答の活性化のプラットフォームとして機能する複合体である HDP-RNP 複合体に組み立てられることにより、DNA ウイルス媒介自然免疫応答の調節に役割を果たします (PubMed:28712728)。

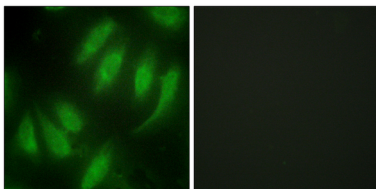
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

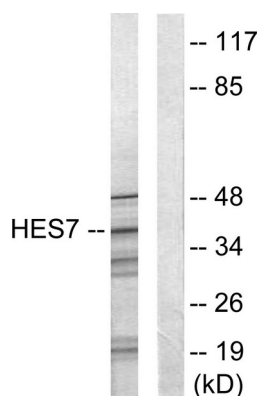
画像データ



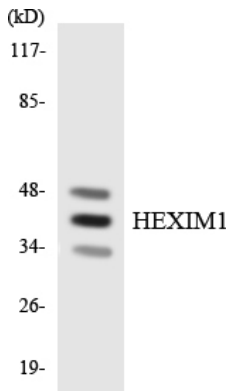
HEXIM1 抗体を使用したラット HEART 溶解物中の HEXIM1 のウエスタン ブロット分析



HeLa 細胞における HEXIM1 の HEXIM1 抗体を用いた免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドを用いてブロッキングした画像。



NIH/3T3 ライセート中の HEXIM1 を HEXIM1 抗体を用いてウエスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HEXIM1 抗体を用いた HeLa 細胞溶解液中の HEXIM1 のウェスタンブロット分析